

令和元年度 三郷市立彦成小学校 学校評価結果

評価項目	評価項目No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え		
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	3.65	4.00	・「徹する教育を基盤に、子供のやり抜く力を引き出す学校」、「読む力を育てる」を本年度の重点として明確に示され、意識を統一して取り組んでいる。	
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.54	4.00	・職員間で情報交換がよく行われ、職員の連携が図れている。 ・校内研修、行事等の実施後には、反省は行われているが、改善に向けた協議と共通行動の確認ができるようにする。	
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.77	4.00	・「体育」を中心に、学力では「読む力の育成」を明確な重点が示され、職員が連携して取り組んでいる。	
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	3.73	4.00	・業間運動等、活動を行う意義を説明してもらい、共通理解を図って取り組んでいる。	
	資質向上	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	3.69	4.00	・倫理確立委員会(年間10回)や毎日の新聞記事からの情報提供等を通して、一人一人が規律ある服務を意識している。	
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.80	4.00	・多様な研修(研究授業、図工、感想文、人権、生徒指導等)や学年間の教材研究が、計画的に実施されている。	
授業等の状況	学力向上	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	3.65	4.00	・課題である読む力を育てるよう授業改善を図っている。引き続き研修、学年会等を通して、全教員の指導力向上を目指していく。	
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.23	3.60	・工夫して取り組んでいるが、すぐには結果は出ない。見届け・改善を図りながら、取り組みを継続していく。 ・彦小タイムや国語スキル等の時間の活用方法を検討していく。	
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.69	4.00	・「はっきり、すっきり、ピツ」の徹底、「立腰」を意識した指導を全職員で意識して指導できた。さらに、チャイムで始まり、チャイムで終わる指導、教職員の共通行動を徹底していく。	
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.69	4.00	・学校全体で落ち着いた雰囲気の中で、学習が進められている。さらに、学級で集中の差が出ているので、学年間で刺激し合うようにしていく。	
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	3.54	4.00	・図書館司書の先生と連携して、図書館利用を工夫している。さらに、活性化を図っていききたい。子供たちが本を手に取りたくなるような活動を計画的に進めていききたい。	
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	3.31	3.78	・読み聞かせの活動、目標達成児童の表彰など、児童が主体的に取り組める活動ができた。 ・各クラスで計画的に学校図書館を利用できるようにしていく。また、学年相応の読書内容にする工夫をしていく。	
	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.35	3.60	・食べ残しのキャンペーンなど、意識的に取り組んでいる。	
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	3.81	3.90	・朝マラソン、朝ダッシュ、業間運動など、体力向上のための取組が実践されている。 ・まだ、外に出ずに教室・廊下にいる児童がいる。外遊びをと勧めたり、教師が外に出たりしていくことが必要である。	
	道徳の推進	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.27	3.60	・学校公開、授業参観で各学級が道徳授業の公開を行った。 ・地域の方々の力を取り入れた道徳教育を工夫していきたい。	
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.46	3.90	・朝会や学年集会、地域の方々との行事を通して、多様な道徳性を感じ、考える場面を設定できた。	
	指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	17	学校は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.65	3.90	・先生方から挨拶をする姿勢を見せることができた。 ・まだ、先生によって指導にはばつきがある。
			18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	3.54	3.80	・指導しているが個人差が大きい。子供たちからできるように工夫したい。地域の方々との関わりを通して、挨拶の大切さを感じ取らせていきたい。また、定着のために、指導すべきことは徹底して指導することが必要である。
19			学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.31	3.60	・共通認識をもって、全職員で指導に当たっていく必要がある。 ・場や相手を考えて言葉遣いができるよう指導していく。	
生徒指導		20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.65	4.00	・管理職が迅速に動き、組織的な対応を推進している。 ・教職員間の情報交換をさらに密にし、不登校・非行問題行動を全職員でアンテナを高くし対応し続けていく。	
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.62	4.00	・欠席児童の家庭への連絡や学級での問題、体調不良等の家庭への連絡を欠かさぬよう全職員で努めた。さらに、保護者の方々の声を聞きながら指導をしていく。	
		22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	3.62	4.00	・各学級での友達の良さを伝えあう取組や全校でのキラキラハートの取組が積極的に行われた。今後も全職員で、児童一人一人を見つめ、声を聞き、認めていくようにする。	
安心・安全		23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.65	4.00	・事故やトラブルには、素早い対応を心がけた。教職員間と保護者・地域との連絡を丁寧にするよう共通理解で取り組んだ。さらに、事故対応だけでなく、トラブルや生徒指導上の問題等への動きも明確にしていきたい。	
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.50	3.90	・修繕を迅速に行うよう努めることができた。 ・毎月の安全点検、登校指導が遅れて実施することがあった。確実な実施と改善を図っていききたい。	
環境整備		25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	3.69	4.00	・月末のピカピカ大作戦での児童の振り返り、ピカイチの取組が児童の意欲を高めることができた。 ・無言清掃、先生方も一緒に掃除の取組が定着してきた。さらに、日常で落ちているごみを自ら拾う児童を育てていきたい。	
	26	学校は、学習環境を整えるため、施設・設備の充実を図っている。	3.65	4.00	・おやじの会のU字溝掃除、図書館整備ボランティアの掲示活動など、地域の力を借りて整備が進められた。 ・遊具の危険をチェックし、修理、撤去を行うとともに、移動式雲梯を設置することができた。		
家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.73	4.00	・視聴覚部を中心に日々ホームページをアップし、情報発信できている。さらに、もっと保護者に方に浸透させていきたい。		
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	3.62	4.00	・学校応援団会議や連絡会を計画的に実施し、家庭・地域と連携を図るよう努めた。 ・親の学習を7回実施し、保護者・地域への教育活動への協力の啓発を行った。		
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.69	4.00	・PTAや地域の活動・行事に多くの職員が意欲的に参加できた。地域と共に学校教育の充実を図る取組を継続していきたい。		